礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ヨハネ3:16 ‥‥‥‥ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 29番　いざ、聖徒よ
*交読文 ‥‥‥‥‥‥‥‥ 44番
*使徒信条 ‥‥‥‥‥‥‥‥会衆一同
*頌栄 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 171番　はとのごと降る
礼拝のための祈り ‥‥‥‥ 成田エクレシア:浪川執事　天声:小林 伝道師
聖餐式 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 281番　しみもとがも
メッセージ ‥‥‥‥‥‥‥ 三位一体の神が、人を尊く創られた物語(創世記 1:26)
御言葉を適用する祈り ‥ 会衆一同
賛美 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 9番　聖なる、聖なる、聖なるかな
献金感謝の祈り ‥‥‥‥ パスター
報告 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥
*主の祈り ‥‥‥‥‥‥‥ 会衆一同
*祝祷 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主、その栄光は全地に満つ」‥。その時____は言った、「わざわいなるかな、____は滅びるばかりだ。____は汚れたくちびるの者で、汚れたくちびるの民の中に住む者であるのに、____の目が万軍の主なる王を見たのだから」。この時セラピムのひとりが火ばしをもって、祭壇の上から取った燃えている炭を手に携え、____のところに飛んできて、____の口に触れて言った、「見よ、これが____の唇に触れたので、____の悪は除かれ、____の罪は赦された」。____はまた主の言われる声を聞いた、「わたしは誰を遣わそうか。だれがわれわれのために行くだろうか」。その時____は言った、「ここに____がおります。____をおつかわしください」。(イザヤ 6:3-8)

神はまた言われた、「われわれのかたちに、われわれにかたどって____を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うものとを治めさせよう」。神は自分のかたちに____を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。神は____を祝福して言われた、「生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。また海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ」。‥神が造ったすべての物を見られたところ、それは、はなはだ良かった。夕となり、また朝となった。第六日である。(創世記 1:26-31)

メッセージ概要

『*神(エロヒーム)は仰せられた。「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。*』(創世記 1:26a)　7月から始まった世界同時テフィリンは、天地創造の佳境に入り、いよいよ、人を創って祝福する段に入った。今回、私たち人間は、どんなに神様から尊いものとして造られたか、この節から確認したい。

神様はご自身を、「われわれ」と、複数形で表現された。神をあらわす語エロヒーム אֱלֹהִים は、エロアー אֱלוֹהַּ(崇高なるお方)」の複数形で、「崇高なる方々」とも訳せる。唯一であられるはずの神は、なぜ複数形で表現されたのか…。聖書の最初、創世記 1:1 の原文は「ベレシート・バラー・エロヒーム(はじめに、創造した、崇高なる方々が)」であるが、ここは複数形名詞・エロヒームに対し、単数形動詞のバラー(創造する)が当てられており、これは文法ミスとも思える(例えば They is GOD と書くような)尋常でない表現である。

ユダヤ人の至宝であり、全人類の真理である聖書が、最初から文法ミスを犯しているのだろうか？いや、人がどう見ようと感じようと、ヘブライ語聖書は、一点一画で、真理そのものを正確に表現しているのだ。

神は、本質としては一でありながら、人格(パーソン)は、三であられる。これをすなわち**三位一体**という。

その三の人格(本来は「位格」)の第一は**「父」**、全てを企画設計するお方であり、第二は**「子」**、御父が企画設計した事を、実行するお方、そして第三は**「聖霊」**、御子が実行された事を助け、保全・保護される。

そして父、御子、御霊が、天地創造の場面で唯一、志を一つにして言われた事は、「さあ人を造ろう」であった。それも、「われわれの形として、われわれに似せて」。神は人を、実に、特別な存在として創られた。

神は、特に心して造られた人間に、どのような役割・どのような目的を与えられたか。『*彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを**支配(ラーダー)**するように。*』(創世記 1:26b)

「ラーダー」の原意は、「踏み固める」、そこから「征服する」「支配する」の意味となる。つまり人は、本来、悪しき者や、御心にかなわない事がはびこる時、それを踏みにじり、征服し、全被造物が健全に安息を保つよう、**正しく統治するための支配権が、委任されている**。私たちはこの事を、しかと心に留めるべきである。私達は、罪人の支配に押されているべきではないし、世の隅でひっそり清貧に生きている場合でもない。世をキリストにあって正しく支配し、罪や汚れが起こった時は、しっかり足の下で踏み、征服すべきである。

この正しい統治とは、キリストの権威の下に服してこそ、可能である。私たちは与えられている分を超えて、自分が神のようになろうとしてはならない。聖書の中で、三位一体の神が一丸して人間に反対されたケースは、善悪を知った人間が、いのちの木にまで手を伸ばす危険があった時、また、バベルの塔を築いて名をあげようとした時であった(創世記 3:22, 11:7)。いずれも、罪ある人間が神のようになろうとした時である。

神が三位一体として全力で人をバックアップする時とは、宣教のため全世界へ人を遣わされる時である(イザヤ 6:8、マタイ 28:19)。神はそれ程、救いの働きを尊ばれた。父・御子・御霊が、公に人前に現れたのは、イエス様が水のバプテスマを受けられた時で(マルコ 3:16-17)、イエス様こそ、全人類の救いの中心、福音の働きの中心である、と、全力で強調された。父・御子・御霊は、様々な賜物や奉仕、働きの根源であり(1コリント 12:4-6)、そしてバプテスマも、祝祷も、父・子・聖霊の御名による(マタイ 28:19,2コリント 13:13)。

このように三位一体の神は、イエス様こそ生ける神の御子キリストであると強調され、また救いの働きを全力で助け、働き人を支え、救いのわざ、神の国の仕事に参加する事を、全面的にバックアップされる。

遠い昔、天地万物は、父なる神が設計し、御子キリストにあって創られた。三にして一であられる神は、心と思いを意思を一つにし、「さあ、人をつくろう。われわれのかたちに、われわれに似せて」と言われ、人が創られる前から人を愛し、人を喜び、人のために次々とこの世を構築して行き、そしていよいよ最終段階に入った時、全てのものを治めるように、と、神に似たものとして、人を創られた。人が男と女として創られ、彼らが全被造物の中におさまった時、神は、はなはだ喜び、**とても良い！**と評価された。

サタンが人をそそのかし、罪と死の奴隷にしてしまった時、神は早速、救いのご計画を発動し、御子イエスキリストご自身が、自ら犠牲となって救いのわざを達成された。そして聖霊は、弱い私たちを助け、私たちが神の子として御国を受け継ぐまで、助けておられる。そんなにも人は、神から尊ばれた存在なのだ。この本質を理解し、その本質の中に生きる皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝　賛美 10:30　礼拝 11:00
食事/フェローシップ　12:30～
English Service　14:00～

日々の集会

月～金　早天祈祷会　5:00～
火・木・金　賛美と祈りの集会 13:00～
火～木　夜の祈祷会　19:30～

水曜礼拝

1 部　13:00～
2 部　19:30～

金曜徹夜祈祷会　21:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 15 巻 36 号　　2020 年 9 月 6 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@ yahoo.co.jp

YouTube